

第1章 保護者対象調査

第1節 調査の概要

1 調査の目的

現在の子育て世代を取り巻く環境は、少子化・核家族化、生活スタイルの多様化、人と人とのつながりの希薄化など急激に変化している。このことから、県内の子育て世代が抱える不安の内容やニーズなどの実態を把握し、男女共同参画の視点に沿った子育て支援の可能性等といった観点から、親の成長を通じた子育て支援の課題を研究し、今後の子育て世代への支援プログラムづくりの資料として活用することを目的とする。

2 調査の項目

	構成		項目
1	基本的属性		保護者のプロフィール
2	子育てに関する意識	(1)	親自身の意識
		(2)	性別役割分担意識
3	子育てに関する不安	(1)	子育てに関する不安
		(2)	子どもとの関わりにおける不安
		(3)	子育て環境における不安
4	子育てに関する相談	(1)	子育てに関する相談相手がいるか
		(2)	子育てに関して誰(どこ)に相談しているか
		(3)	子育てに関しての相談相手に対する満足度
		(4)	誰にも相談しない理由
5	子育てに関する情報源		子育てに関する情報源
6	子育てに関するサポート		ほしいと思う子育ての場
7	父親の子育てへの参加	(1)	父親の子育てへの参加
		(2)	父親の子育てへの関与度
		(3)	父親が子育てに関わっている理由
		(4)	父親が子育てに関わっていない理由
		(5)	父親が子育てに関わってほしい理由
8	パートナーとの関係の満足度		パートナーとの関係の満足度

3 調査対象

- (1) 調査実施地域 青森・弘前・八戸・五所川原・むつ市
(2) 調査対象 0歳児～就学前の子どもを持つ親
(3) 標本数 3,274人(父親1,637人、母親1,637人)

調査対象数	保護者(人)	
	幼稚園	保育園(所)
青森市	400	309
弘前市	285	295
八戸市	487	415
五所川原市	166	310
むつ市	300	307
合計	1638	1636

4 調査方法

幼稚園、保育園(所)を経由して親へ配布・郵送による回収

5 調査期間

平成21年7月20日～平成21年9月10日

6 回収結果

調査対象者数 3,274人
回収数 1,585人(父親704人、母親881人)
回収率 48.4%(父親43.0%、母親53.8%)

7 分析方法

分析に当たり、単純集計及びクロス集計を実施した。

クロス集計の種類

[父親と母親の比較]=父親、母親の比較

[子どもの数別の比較]=子1人、子2人、子3人以上の比較

[第一子の成長段階別の比較]=3歳未満、3歳～就学前、小学生以上の比較

[年代別の比較]=20代、30代、40代の比較

[共働きと片働き世帯の比較]=父親が回答した共働き世帯

父親が回答した片働き世帯*1)

母親が回答した共働き世帯

母親が回答した片働き世帯*1)の比較

*1) ここでいう「片働き世帯」とは、夫が有業で妻が無業の世帯をいう。

[母親の有職・無職の比較]=母親(会社員、公務員、パート・アルバイト、自営業・家族従業)、母親(無職または家事専業)

8 本調査報告書の留意点

比率は百分率（％）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までの値で表示している。従って合計が 100%にならない場合がある。

複数回答項目については、回答者数を分母として百分率を算出している。また、図表中では分母の数を $N=(\text{分母の数})$ と表記している。

図表及び文章中において、選択肢の表記は、煩雑な表現を避ける目的で一部省略している。

9 倫理的配慮

調査の実施に際しては、回答者に対して文書若しくは質問紙の冒頭で調査の趣旨を説明し、同意を得た上で協力をいただいている。また、設問に対して回答拒否を認めている。この他、調査は無記名で実施しているため、回答票から個人を特定することはできない。